

第44回

**豊田おいでんまつり
基本計画**



平成24年 1月24日

豊田おいでんまつり実行委員会

目次

■豊田おいでんまつりの構成	2
Ⅰ 踊りについて	3
Ⅱ 花火について	7
Ⅲ 警備について	9
Ⅳ その他会場・運営について	10
Ⅴ 協賛について	11
Ⅵ 総務・広報・宣伝について	12
■参考資料	
◆豊田おいでんまつり実行委員会規約	

■豊田おいでんまつりの構成

マイタウンおいでんとおいでんファイナルからなる「踊り」と、「花火大会」で構成します。

■趣 旨

市民が楽しみ、感動し、訪れる人を温かく迎えるふるさとのまつりを行政・市民・事業者の共働の力でつくります。そして、活力ある豊かな観光交流都市・豊田市のまちづくりに貢献します。

■主 催

豊田市・豊田市観光協会・中日新聞社・東海テレビ放送

■基本テーマ

「笑顔になれる 笑顔に逢える ふるさとのまつり」

■第44回のキャッチコピー

(検討中)

■豊田おいでんまつり実行委員会委員

- ・豊田市
- ・豊田商工会議所(2名)
- ・豊田市議会
- ・豊田市消防団
- ・協同組合 豊田市商店街連盟(2名)
- ・豊田市区長会
- ・中日新聞社
- ・東海テレビ放送株式会社
- ・豊田市観光協会
- ・民謡調振付師
- ・ディスコ調振付師
- ・協同組合 豊田市鉄工会
- ・公益財団法人 豊田市文化振興財団
- ・トヨタボランティアセンター
- ・事業所代表【トヨタ自動車株式会社】
- ・連合愛知豊田地域協議会
- ・豊田ホテル・旅館組合
- ・名古屋鉄道株式会社
- ・名鉄バス株式会社
- ・愛知環状鉄道株式会社
- ・愛知県タクシー協会
- ・ひまわりネットワーク株式会社
- ・社団法人 豊田青年会議所
- ・公益財団法人 豊田市国際交流協会
- ・豊田都市整備研究会
- ・豊田商工会議所青年部
- ・藤岡商工会
- ・小原商工会
- ・足助商工会
- ・下山商工会
- ・旭商工会
- ・稲武商工会
- ・あいち豊田農業協同組合
- ・豊田市消費者グループ連絡会

計 36名

■スケジュール

日 程	委員会・幹事会	部会・関係団体など
平成23年10月～		踊り部会(3回)
平成24年1月17日(火)	幹事会【基本計画】	
1月24日(火)	第1回実行委員会【基本計画策定】	
3月		各部会【実施計画協議】
5月下旬	第2回実行委員会【実施計画策定】	
6/16(土)～7/15(日)	マイタウンおいでん	各部会【運営協議】
7月28日(土)	おいでんファイナル	
7月29日(日)	花火大会	
8月下旬	第3回実行委員会【実施報告】	各関係団体【反省会】

※ 毎月、マイタウンおいでん連絡協議会実施

1 全般について

(1) 位置付け

①マイタウンおいでん

マイタウンおいでんは、誰もが楽しめる参加型のおいでん踊りのまつりです。地域の特色を盛り込み、市民が手作りで開催します。豊田おいでんまつり実行委員会（以下、実行委員会）は、開催を支援します。会場により、まつりを盛り上げるため、ハリボテなども参加します。

②おいでんファイナル

おいでんファイナルは、踊る人も見る人も「感動」することのできる「魅（見）せる」踊りによって、おいでんまつりを盛り上げるエキシビジョンです。マイタウンおいでんから選抜された踊り連による「踊り」と、次世代に受け継がれていくまつりを目指し、就学前の子どもたちが参加する「リトルおいでん」を行います。

また、まつりを盛り上げるハリボテの展示とコンテストを行います。

■スケジュール

日 程	内 容
1月 4日(水)～ 1月31日(火)	マイタウンおいでん開催団体受付
5月 7日(月)～ 18日(金)	マイタウンおいでん、リトルおいでん、ハリボテの参加申込受付 ※前回は5月9日(月)～20日(金)
5月23日(水)	マイタウンおいでん出場可否の発表（HP等で発表）
5月28日(月)～ 6月 6日(水)	マイタウンおいでんの追加申込受付（予定人数に達しない場合）
6月 8日(金)	マイタウンおいでん追加分の出場可否発表（HP等で発表）
6月16日(土)～ 7月15日(日)	マイタウンおいでん ※前回は6月18日(土)～7月17日(日)
7月15日(日)	おいでんファイナル参加連選出審査会 (雨天対策時も開催できなかったマイタウンのみ対象)
7月18日(水)	おいでんファイナル出場連の発表（HP等で発表）
7月20日(金) 21日(土)	おいでんファイナル出場連説明会
7月28日(土)	おいでんファイナル

※その他、関係機関と協議・調整を行います。

(2) 踊りの審査

マイタウンおいでん運営委員会（以下、運営委員会）は、マイタウンおいでんの各賞を決める審査を、独自の基準で行います。併せて、おいでんファイナル出場連を推薦します。

実行委員会は、マイタウンおいでんでは、振り付け、衣装、協調性などを基準においでんファイナルへ出場するための審査を行います。また、おいでんファイナルでは、各賞を決定する審査を行います。

(3) 踊りの普及活動

おいでんまつりを次世代に引き継ぐため、将来を担う子どもたちを対象に、インストラクターが、おいでんまつりの踊りの指導を行います。

また、「ディスコ調」、「民踊調」の振付DVD、ビデオの貸し出し（無料）を行います。

1月上旬よりインストラクターの募集を開始します。



2 マイタウンおいでんについて

(1) 開催団体

マイタウンおいでんの開催団体は、運営委員会です。

運営委員会は、自治区、商店街、踊り連などにより構成され、会場作りからまつりの運営までを行います。

(2) 開催要件

開催要件は、以下のとおりです。

- ①会場は豊田市内とし、概ね300人以上の踊り連を受け入れることができ、運営委員会が主体となって開催できること。
- ②雨天の場合に、順延もしくは晴天時と同程度のまつりが開催できること。
- ③実行委員会が指定する日までに、参加連を募集するための開催日、会場及び当日のスケジュールを確定できること。

(3) 開催期間

6月16日(土)～7月15日(日)の期間に開催します。

雨天の場合、順延、もしくは会場を変更して実施します。

(4) 会場

15会場程度を予定しています。(前回実績：15会場)

(5) 観客・参加者数の目標

延べ観客数 22,000人 (前回実績：21,185人)

延べ参加者数 7,000人 (前回実績：4,129人)

3 おいでんファイナルについて

(1) 実施団体

おいでんファイナルの実施団体は、実行委員会です。

(2) 開催日時

開催日	開催時間	場 所	行事内容
7月28日 (土)	17:00~20:30 (前回 16:00~20:30)	駅前停車場線、 (スタジアムアベニュー) 竹生線	オープニング リトルおいでん ハリボテ 踊りファイナル

※行事内容はたまかなまつりの流れであり、具体的な内容については今後協議します。

(3) 会場計画 (関係機関と調整中)

おいでんファイナル会場図 (案)



■交通規制エリアと規制時間

交通規制エリアと規制時間については、関係機関と協議します。

交通規制エリア	規制時間
駅前停車場線一帯	16:30~21:00 (前回 15:30~21:00) ※駅前ロータリー周辺は~21:30

※交通規制は、まつり終了後に豊田警察署の指示で解除します。

(4) 観客・参加者数の目標

観客数 110,000人 (前回実績: 90,000人)
参加者数 6,000人※リトルおいでん含む (前回実績: 4,880人)

(5) その他

①リトルおいでん

就学前の小さな子どもたちが参加する場としてリトルおいでんを行います。こども園、幼稚園単位で募集します。

②ハリボテ

まつりの雰囲気を出すため「ハリボテ」の参加を募り、踊り連とあわせてまつりを盛り上げます。

(6) 開催・中止の決定、周知

- ①小雨決行、大雨警報が発令中の場合は中止とし、延期しません。ただし、連続的または断続的な降雨の場合は、正午に実行委員会が実施または中止決定を行います。(実施決定後の気象変更等により中断または中止することもあります。)
- ②光化学スモッグ注意報が発令中の場合は、リトルおいでん開始1時間前にリトルおいでんの中止決定を行います。
- ③開催・中止の案内は、テレドーム(必ず回線がつながるシステム)及びホームページで行い、同時にひまわりネットワーク、その他のメディアに情報提供します。



1 位置付け

豊田おいでんまつりを締めくくる質の高い花火大会です。

日本有数の花火師の参加による、大会全体を通じた花火の質を基本としながら、市内企業、市民を中心に協賛、運営協力いただくことで、市民が愛し、誇れる花火を目指します。

2 実施団体

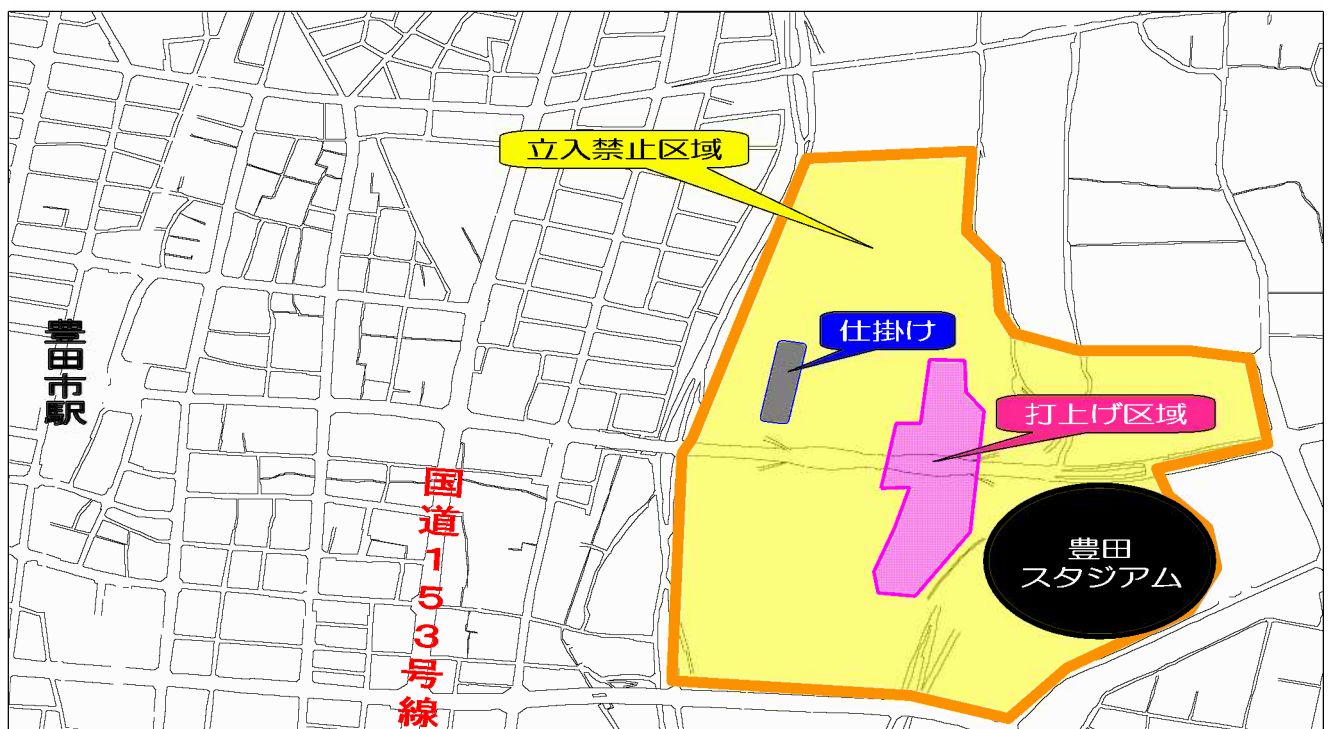
花火大会の実施団体は、実行委員会です。

3 開催日時

開催日	開催時間	場所	行事内容
7月29日 (日)	19:10~21:00	白浜公園一帯	打ち上げ花火 仕掛け花火 手筒花火

4 会場計画（関係機関と調整中）

花火大会会場図（案）



■交通規制エリアと規制時間

交通規制エリアと規制時間については、関係機関と協議します。

交通規制エリア	規制時間
立入禁止区域	9:00～23:00 白浜・千石公園は前日9時から翌日6時まで立入禁止
豊田大橋	10:00～22:00
白浜側堤防	15:00～22:00
喜多町5丁目周辺と駅前通り	17:00～22:00

※交通規制は、まつり終了後に豊田警察署の指示で解除します。

5 観客数の目標

観客数 360,000人 (前回実績: 360,000人)

6 打上の目標

打上数 13,000発 (前回実績: 12,000発)



7 観覧席

(1) 協賛席

入場時間の平準化による混雑の軽減を図るため、全席を指定席にします。また、新たに、豊田大橋南側の一部に指定席を設定します。また、カメラ席を協賛席として設けます。

(2) 協賛席以外

白浜公園の芝生部分の一部を、事前場所取り可能箇所として開放します。

8 開催・中止の決定、周知

- (1) 雨天決行としますが、警報が発令中の場合は、関係機関と協議し、当日の正午に開催・中止を決定します。中止の場合は、順延はしません。
- (2) 連続的または断続的な降雨により、河川が増水し危険が高まった場合は、関係機関と協議して開催・中止を決定します。
- (3) 開催・中止の案内は、テレドーム (必ず回線がつながるシステム) 及びHPで行い、同時にひまわりネットワーク、その他のメディアに情報提供します。

1 警備体制

すべての人が安全で安心して楽しめるための警備計画を作成し自主警備を行います。警備にあたっては、豊田市消防団、豊田市消防本部、豊田市青少年相談センター、豊田警察署などの協力をいただき、連携して警備を行います。

2 交通対策

- (1) 各公共交通機関と連携し輸送力強化を図るとともに、公共交通機関での来場を啓発します。
- (2) バス及びタクシー乗降場は、関係機関と協議し適切な場所に移動します。
- (3) 臨時駐車場は、中心市街地近郊の小中学校にグラウンド使用を依頼します。
- (4) 公共交通機関の円滑な運行のため、交通関係者との対策会議を実施します。

3 救護体制

- (1) おいでんファイナル・花火大会とも、救護所（AED、担架及び救急医薬品等を配備）、消防署現地本部を設置し、警備本部には、市消防本部の職員等を配置します。
- (2) 傷病者搬出ルート確保や緊急車両等の規制区域内への進入は、警備員を配置して、適切な対応を行います。

4 熱中症等暑さ対策

- (1) おいでんファイナルでは、熱中症等暑さ対策のため開催時間を1時間繰り下げ、日差しが弱くなった時間に開催します。また、各踊り連は水分補給用台車の持込みを可能とし、水分補給をすぐに取りれるように対策します。
- (2) 花火大会では、熱中症等暑さ対策のため協賛席エリアを全席指定席にすることにより、早くからゲートに並ぶ必要性を軽減します。

1 運営体制

まつりの運営は豊田まちづくり株式会社を中心に実施します。加えて、市民、企業、団体などに呼びかけ、行政・市民・事業者の共働により運営を行います。

2 環境（ゴミ）対策

クリーンキャンペーンとして、参加者、観客等にゴミ散乱防止を呼びかけます。



3 屋台等の出店

（1）屋台広場

①おいでんファイナル

7月28日（土）：挙母神社 16：00～20：30

②花火大会

7月29日（日）：豊田大橋西側一帯 17：00～21：00

（2）その他大型店舗等臨時出店

豊田市駅周辺から豊田大橋周辺までにかけて、屋外等での臨時出店が見込まれます。



1 協賛目標金額

60,000千円 (前回 53,321千円)

2 協賛内容

(1) 踊り

おいでんファイナル会場内に企業PRブースを設け、企業とともにまつりの盛り上げを図る協賛メニューを用意します。

(2) 花火

仕掛け花火、スターマイン、日本煙火芸術協会作品の打上げを大口協賛企業へ依頼するとともに、法人・市民からの協賛を募ります。経済情勢が厳しい中、幅広く支援いただくため、市民スターマイン協賛を強化します。なお、協賛者には、花火大会入場券を進呈します。

(3) まつりPRグッズ

環境うちわ、タオル、ガイドブックを含め、まつりを盛り上げるための効果的なグッズを作成します。

3 スケジュール

時 期	内 容
1月中旬	協賛メニューの確定
2月上旬～	大口協賛者への協賛内容の説明及び新規大口協賛者の募集
3月上旬～	前回協賛者へ協賛案内の実施（電話及び依頼文）
3月上旬～ 5月下旬	協賛受付開始 ※市民スターマイン、7月下旬まで受付
3月下旬	商工会議所、商工会会員等に協賛チラシの配布



1 事業費

市負担金、協賛金を主な財源として、総事業費を約2億円程度と想定し、まつりを実施します。

2 広報宣伝計画

(1) 広告

メディアを使った宣伝については、事業費が厳しい中、効果を十分見極めながら行います。

- ・東海テレビ放送による番組、CM制作
- ・新聞広告、CATV告知
- ・ポスター、マイタウンおいでんプレスの作成・配布
- ・ガイドブックの作成・配布

(2) 広報

市広報や報道紙面での取り上げ等「パブリシティ」の積極的な活用により、市民をはじめ、広くまつり開催情報や協賛募集の告知を行います。

- ・広報とよた、報道紙面等への情報掲載
- ・公式ホームページの活用
- ・県内外の情報誌、インターネット等への情報提供
- ・TV、ラジオの取材協力